

## 企業立地推進事業

アナ： 「市長が語る 2020 三島」第 14 回の今日は、「企業立地推進事業」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 現在、三島市では企業の誘致活動にとっても力を入れているようですが、そこにはどのような狙いがあるのでしょうか。

市長： 他市と同様、三島市でも人口減少と少子高齢化が進み、事業者数や商業販売額に影響が出ています。これからの三島市はどうあるべきか、何が必要かを考え、三島市が最優先で取り組む施策として「観光振興」、「三島駅前の再開発」とともに企業誘致をすることとしました。

企業誘致のキーワードは「働く場所を増やし、働く人を増やす」です。魅力ある良好な働く場を確保しなければ、若者の流出を食い止めることはできず、人を増やすことができません。人が増えて、人の流れが変わることにより、地域も活性化します。

アナ： 企業誘致は税収確保にも繋がりますから、三島市が発展していくために、企業誘致は重要な鍵になりますね。

市長： 昨年の誘致活動での大きな成果の一つに、株式会社ファンケルのサプリメント工場の誘致がありました。物流や人材確保に適地ということで三島市を選んでいただき、来年の春、三島市松本地区での操業に向けて、設備投資に約 50 億円をかけると聞いておりますので、経済波及効果を大変期待しております。

また、三ツ谷工業団地でも、同じく来年の春に、工場が操業する予定です。

アナ： 三ツ谷工業団地は箱根へ上がる国道 1 号沿いにできた新しい工業団地ですね。どのような工場ができるのですか。

市長： 小久保（コクボ）製氷冷蔵株式会社がロックアイスなどを作る工場を操業されます。九州から北海道まで全国に工場が有るなかで、三ツ谷工業団地で取水できる箱根山水系の良質な水を大変気に入ってくださり、進出を決めたと同っています。団地内で一番広い区画であり、国道に面しているため、市民の皆さんもお気付きになると思います。ファンケルも含め、いずれ採用情報も出てくると思いますので興味がある方は気にかけておいてください。

アナ： どちらの会社も地元と社員を大切にする優良企業だと聞いています。働きたいと思う人が多いでしょうね。

三ツ谷工業団地は全区画で進出企業が決まっているのでしょうか。

市長： 5 区画が決まり、あと 1 区画、約 1 万坪の土地が残っています。工業用地の場合、規模が大きくなればなるほど経済情勢の影響を大きく受けると言われておりまし

て、この1区画も例外ではありません。

新型コロナウイルスの影響で、交渉中の案件も保留になってしまいました。今は三島にとって大切な企業を見つけるための準備期間だと思ってじっくりと腰を据えて誘致していきたいと思います。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大は、国民の働き方にも大きな変化を及ぼし、ICT(情報通信技術)を活用し、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方となるテレワークを推進する流れが広がってきております。

三島市ではサテライトオフィスの誘致にも力を入れております。様々な業種の企業に立地していただき、若者にとって魅力ある職場を増やしていきたいと思います。

現在は、企業への訪問活動を自粛しており、代わりに電話での情報収集や三島市のPRに努めておりますが、新型コロナウイルス感染症が終息し、不安が解消されたのち本格的な企業誘致活動を再開していきます。

企業誘致はゴールではなく、あくまでも三島の将来の為のスタート地点です。三島市が発展できるよう、引続き企業誘致・定着活動を進めていきます。

アナ：なるほど。三島市が元気な街であり続けるには企業誘致が大切であることが分かりました。1社でも多くの企業を誘致していただければと思います。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長：ありがとうございました。